

## 令和6年度 第4回我孫子市平和事業推進市民会議 会議概要

### 1. 開催日時

令和6年11月9日（土）13時30分～15時30分

### 2. 開催場所

我孫子市役所分館1階大・中会議室

### 3. 出席者

（委員）桑原会長、高須副会長、赤羽根委員、石井委員、見城委員、佐藤委員、  
根本委員、早坂委員、的山委員、山元委員

（事務局）大山課長補佐、山田係長、鈴木主任、稲垣主任

### 4. 傍聴人

なし

### 5. 議事

#### （1）開会

桑原会長から全体の挨拶を行った。

#### （2）協議事項

##### 1）平和の集いについて

事務局から、前日・当日のタイムスケジュールについて説明し、当日の役割分担及び来場者へのアンケート内容について確認した。

また、展示に関する概要を説明し、設営について協力を依頼した。

##### — 委員からの意見 —

・「こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト」の展示作品は、昨年度と同じものか。（的山委員）

→新しい作品もある。（事務局）

##### 2）次年度事業について

翌年迎える戦後80年・我孫子市平和都市宣言40年に関する記念事業について、各部会より進捗報告を行った。

今回の報告内容は、次年度予算にも影響することから、事務局より各事業に関する詳細等の確認を行った。

— 委員からの意見 —

- ・記念事業については、運営委員会や各部会において、協議を行う。市民会議の場では、議論は行わずに、情報共有等を行う形となる。（桑原会長）
- ・こどもたちによる“平和なまち”絵画コンテストの我孫子市の応募作品については、すべて展示したい。（的山委員）
- ・平和のうた制作の歌詞については、部会の中で公募するという意見が多いが、完成までのスケジュールや、仮に応募が少なかった時のことを考えると判断が難しいところである。（桑原会長）
- ・平和のうた制作に関する事務局確認である、制作後の活用・展開については、平和事業での活用のほか、市内小中学校への配布や合唱部での活用に加え、市民団体主催イベントでの活用も視野に入れて検討を進めたい。（早坂委員）
- ・被爆地の中学生たちとの交流などがあっても良い。（早坂委員）
- ・語り部との交流や事業連携に関する事務局確認である事業の実施効果を高める工夫については、被爆者や被ばく二世の方からのお話を聞く（広島・長崎在住者に限定しない）、広島・長崎の中学生との対談や広島・長崎の中学生が平和についてどのように考えどのような具体的な活動をしているのか意見交換、広島・長崎現地の方々との平和活動（周知啓発活動）の対談といった取組を記念事業として実施することにより、戦後81周年以降のリレー講座での活用、市内小中学校での平和教育での活用、市民団体等を通しての全市的な活用を見据え、継続的に活用可能なコンテンツとしての確立も視野に入れて検討を進めたい。（早坂委員）
- ・語り部の伝承講話などの平和事業を、来年度の我孫子市平和祈念式典と同日で開催を想定している。（桑原会長）
- ・小冊子の配布開始時期については、事務局確認された記念事業の実施年度である令和7年度予算での作成を軸に検討を進める。（石井委員）
- ・平和事業のSNS等での情報発信については、活用するソーシャルメディアの長所・短所の比較検討、運用体制を検討し実施スケジュールを組んでいく。（石井委員）
- ・平和に関する常設展示については、展示場所の検討と並行して、展示内容についても検討を進めており、事務局確認の予算対応としては展示用パネルの

購入費を確保し、その内容を鑑み、記念事業の実施年の令和7年中に部会間連携も視野に入れて検討を進める。(石井委員)

- ・ 展示に関する説明員の配置については、説明員の知識の醸成も含めて慎重に対応したほうが良い。(的山委員)
- ・ 子どもたちへの平和の意識醸成については、まだ足りないので、きっかけになるような事業の検討が必要だと考えている。(高須副会長)
- ・ 第1回戦後80年・我孫子市平和都市宣言40周年記念平和事業運営委員会での委員提案もふまえた事務局確認である子どもたちへの平和の意識醸成の取組については展示の実施時の説明員としての活動や、子ども向けの説明ミニツアーの実施などを視野に入れ、予算対応としては個別に大きな予算は必要ではない。(高須副会長)

### 3) その他

- (ア) 根本委員より、8月に同行した被爆地派遣事業に関する報告があった。
- (イ) 事務局から、次回の会議は令和7年1月下旬から2月上旬で日程を調整することについて報告があった。

### (3) 閉会

以上